

2022年度 日本工学院専門学校											
A I システム科											
情報系資格対策講座 1											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	末吉 竜介			実務経験	有	職種	Webエンジニア／組み込みエンジニア／学習塾講師				
担当教員紹介											
担当教員は、企業のWebサイト制作や券売機等の組み込みシステムの開発に従事し、提案から設計、開発、運用、保守まで全行程の実務経験がある。基本情報技術者試験、旧初級システムアドミニストレータ試験、旧CG検定2級等の資格を有する。											
授業概要											
午後試験について過去問を解き、見直しを行った上で解説を行っていく。早く過去問を解き終わった学生に対しては適宜質問を受け付け、個別に解説を行うことで全学生が効率的な学習を進められるように実施していく。											
到達目標											
基本情報技術者試験はIPAが主催する国家資格の一つであり、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けたことを証明する資格である。本資格はIT業界で開発者として働いていくために最低限必要とされている資格であり、遅くとも入社後3年目までには取得を推奨していることが多い。 本講座では基本情報技術者試験の午前試験免除制度に合格していることを前提とし、午後試験(150分)が合格できるように対策を行っていく。											
授業方法											
基本情報技術者試験はIPAが主催する国家資格の一つであり、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けたことを証明する資格である。本資格はIT業界で開発者として働いていくために最低限必要とされている資格であり、遅くとも入社後3年目までには取得を推奨していることが多い。 本講座では基本情報技術者試験の午前試験免除制度に合格していることを前提とし、午後試験(150分)が合格できるように対策を行っていく演習を主に行う。定期的に確認テストを行い知識習得の確認を行う。											
成績評価方法											
試験・課題 50% 過去問の点数の増減を基に評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
過去問に対して学生が適当に解答をしてしまうと誤答者の多い問題が適切に選び出せず、解説の効果が薄い事態に陥ってしまうため、学生が一生懸命に過去問に取り組むことを最重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。（詳しくは初回の講義で説明する。）理由のない遅刻や欠席は認めない。コンピュータテクノロジーで利用した教科書を忘れずに持参すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。											
教科書教材											
資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	基本情報技術者試験の午前免除資格の必要性、今後の進め方を理解する。										
第2回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										
第3回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										
第4回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										
第5回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。										

2022年度 日本工学院専門学校	
A I システム科	
情報系資格対策講座 1	
第6回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第7回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第8回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第9回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第10回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第11回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第12回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第13回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第14回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。
第15回	去問の演習・解説を通して、解答を理解できる。